

令和7年度

台湾·瑞穂郷訪問団報告書

訪問日時:令和7年7月22日(火)~25日(金)

台湾·花蓮県瑞穂郷交流事業実行委員会

目 次

・目次	?••	• • •	• •	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• •		Ρ.	1
・訪問	团員	名簿	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• •		Ρ.	2
・令和	フ年原	度台灣	ち・	瑞	穂	郷言	方問	問回	团沂	适	行	程	表	•	•	•	•	•	•		Ρ.	3
・訪問	団報台	告書	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•		Ρ.	4	~	Ρ.	5
・訪問	団写真	集	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•		Ρ.	6	~	Ρ.	8
・今後	後の友妹	子協定	定に	つ	ر۱ <u>-</u>	7	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•			Ρ.	9
・協定	書(2	写)		•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	• •	P) . 1	0
・台湾	き・花道	重県球	湍穂	郷	資	料	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	Ρ.	. 1	1~	, P) . 1	2
・位置	國 •	• • •		•	•	•	•	•			•	•	•	•	•	•	•	•		P) 1	3

訪問団員名簿

	氏 名	所属
団長	ょこ やま しげる 横 山 茂	沼田町長
団員	こ みね さとる 小 峯 聡	沼田町議会議長
団員	み うら つよし 三 浦 剛	沼田町教育委員会教育長
団員	まさ やま まさ とし 横 山 昌 利	全日本スキー連盟公認沼田スキー学校長
団員	はく なが ゆう た 徳 永 勇 太	沼田夜高太鼓副会長
事務局	湖本 次登	沼田町教育委員会施設グループ長

令和7年度台湾・瑞穂郷訪問団派遣行程表

■訪問団派遣日程 令和7年7月22日(火)~7月25日(金)〔3泊4日〕

日	時間	行 程	交通機関	摘要
	9:00	沼田町発	町バス	町バスにて新千歳空港へ
	11 : 30	新千歳空港		町ハスにて新十歳空冷へ
7/22	13 : 00	新千歳空港発	航空機	出国手続後、台北桃園空港へ、
(火)	16:20	台北桃園空港	専用車	現地ガイド合流、夕食会場(聚馥園)へ
	19:00	聚馥園	専用車	夕食後、シーザーパーク台北へ
		シーザーパーク台北		泊
	8 : 10	シーザーパーク台北	徒歩	台北駅へ
	8 : 40	台北駅	列車	瑞穂郷駅へ
	11 : 57	瑞穂郷駅	専用車	昼食会場(華玉氷菓店)へ
	12 : 10	華玉氷菓店	専用車	瑞穂郷公所へ
	13:00	瑞穂郷公所		瑞穂郷と沼田町のビデオ鑑賞
	13 : 20	瑞穂郷公所		挨拶
23	13 : 40	瑞穂郷公所	専用車	意見交換と役場見学、記念撮影
(水)	14:00	ザボン加工工場	専用車	文旦産業の視察
()[()		生態教育センター	専用車	瑞穂エコツアーガイド
	15 : 00	プリンセスコーヒー	専用車	お茶・コーヒー産業の視察、茶園景観体験
	17:00	北回帰線記念碑	専用車	瑞穂舞鶴地区の観光スポット
	18:00	撞牆水餃		食事と交流と太鼓披露
	20:00	撞牆水餃	専用車	グランドコスモリゾート瑞穂花蓮へ
	20 : 15	グランドコスモリゾート		
		瑞穂花蓮		泊
	7 : 20	グランドコスモリゾート		
		瑞穂花蓮	専用車	瑞穂郷駅へ
	7 : 57	瑞穂郷駅	列車	台北駅へ
	11 : 28	台北駅	専用車	
24	12 : 30	金品茶樓	専用車	金品茶樓で昼食、故宮博物院
(木)	13 : 30	故宮博物院	専用車	台湾外交部へ
(7)	15 : 00	台湾外交部	専用車	台湾外交部表敬訪問(懇談)
	15 : 30	台湾外交部発	専用車	
	16:00	忠烈祠他	専用車	視察
	18:00	敘香園	専用車	敘香園で夕食
	20 : 00	シーザーパーク台北		泊
	7:30	シーザーパーク台北	専用車	台北桃園空港へ
25	8 : 20	台北桃園空港		出国手続
(金)	10 : 10	台北桃園空港発	航空機	空路帰国の途へ
(217)	15 : 00	新千歳空港	町バス	到着、入国手続、町バスにて沼田町へ
	18 : 30	沼田町		たる。 スローが、 EI ハンド C /ロロEI ・

「台湾瑞穂郷訪問の報告」

台湾・瑞穂郷訪問団一同

昨年、台湾・瑞穂郷とのご縁をいただき、友好交流協定を締結しました。今後の交流内容を具体化するため、派遣団を結成し、7月22日から4日間の日程で瑞穂郷を訪問しましたので、その所感を報告し、関係各位の皆様と共有したいと思います。

派遣団は横山町長を団長とし、小峯議会議長、三浦教育長、横山スキー学校長、徳永夜 高太鼓副代表、事務局の沼本主幹(教育委員会)を含む6名で構成されました。特に文化 交流やスキーをはじめとする「雪国体験」を意識したメンバー構成となっています。

団員それぞれが参加を決めてからは、「台湾で自分に何ができるのか」と不安を感じな がらも、気づけば出発当日を迎えていました。

1日目は、沼田町から台北市内の宿泊先までの移動が中心で、あっという間に時間が過ぎました。

2日目は、台北から新幹線で瑞穂郷駅へ移動し、昼食後に瑞穂郷公所へ向かいました。 バスを降りると、呉郷長や役場の皆様が温かく出迎えてくださり、民族衣装を着た現地の 方々による伝統的な踊りで歓迎を受けました。緊張していた気持ちも和らぎ、昨年沼田町 を訪れた方々との再会もあり、打ち解けるのが早かったように感じます。

交流会場では、沼田町と瑞穂郷の紹介ビデオを鑑賞し、双方の挨拶が行われました。通 訳の方がわかりやすく話してくださったおかげで、言葉の壁を越えて交流することができ ました。記念撮影では、瑞穂郷の方が少し日本語を話してくださり、和やかな雰囲気の中 で交流が進みました。

生態環境センターの視察では、特に農業分野における野生生物保護の取り組みが紹介され、先進的な内容に感銘を受けました。地球規模での環境破壊や気候変動が問題となる中、SDGs(持続可能な開発目標)に配慮した政策が実践されており、非常に印象的でした。

続いて、お茶・コーヒー産業の視察を行いました。瑞穂郷ではお茶、コーヒー、文旦が重要な産業であり、歴史や経緯を学びながら、お茶摘みやコーヒー豆の挽き体験など貴重な体験ができました。その後、舞鶴地区の観光スポットである北回帰線記念碑などを見学し、夕食会場へ向かいました。

夕食会場では、地元中学生による太鼓演奏で歓迎を受けました。お返しに、横山町長による夜高節の披露と、徳永副代表による夜高太鼓の独奏があり、大変盛り上がりました。夕食会には郷長、主席、役場幹部職員、村長(町内会長)、太鼓関係者など約 60 名の方々にご出席いただき、温かく迎えていただきました。沼田町から持参した「雪なごり」も振る舞われ、横山町長から通訳を介して呉郷長に対して、沼田町における「雪国体験」の魅力を伝える等といった、和やかな雰囲気の中で交流が進みました。台湾の方々は比較的お酒に強く、アルコール度数の高いお酒も楽しまれていました。言葉が通じない中でも、人情の深さを肌で感じることができ、非常に有意義な交流となりました。

3日目は、台湾外交部への表敬訪問を行い、台湾の歴史と文化を学ぶため、忠烈祠や中 正紀念堂を見学しました。台湾の歴史に触れ、見聞を広めることができました。

最終日は、台北市内の宿泊先から移動し、無事に沼田町へ帰着しました。

事前に、台湾は湿度と気温が高いと聞いていましたが、冷房の効いた環境での交流だったため、快適に過ごすことができました。

瑞穂郷地域は自然に恵まれ、暑さの質は異なるものの沼田町の雰囲気に似ていると感じました。米の産地としても知られ、台湾の中でも美味しいと評判の地域です。文旦は県全体の8割を出荷する主産地であり、コーヒー豆やお茶の産地としても有名です。豚肉の生産も盛んで、農産物の産出が非常に高い地域であることを知ることができました。

街並みについては、文旦やお茶の農園、北回帰線記念碑などの観光施設と、瑞穂郷駅前の伝統ある飲食店・ホテル・商店街が調和した風景が印象に残っています。

子どもたちの様子を直接確認する機会はありませんでしたが、歓迎レセプションで太鼓 演奏を披露した富源中学校の生徒たちからは、純朴で素直な印象を受けました。国は違え ども、共通の楽器である和太鼓には壁がなく、太鼓の音を通して瑞穂郷の方々と心を通わ せることができました。今後、子どもたちの交流を進めるにあたり、継続的な情報交換を 通じて更なる太鼓の普及発展など、効果的な体験につながる可能性を感じました。また、 言葉の壁がなければ、さらに深い関係を築けると感じました。

外交部への表敬訪問では、林副司長との日本語による懇談が行われ、短時間ながらも内容の濃い話し合いとなりました。台湾の皆様の北海道に対する関心の高さが伺え、沼田町のみならず、広域的な視点で北海道の地域資源の魅力を発信することで、理解をさらに深めることができると考えられます。

今回の交流事業を通じて、日本との文化や気候の違いなどを肌で感じることができ、今後どのような形で瑞穂郷の人々と交流を深めていくか、さまざまな角度から模索する良い機会となりました。

最後に、両町を結びつけてくださった台北駐日文化代表処札幌分処の粘処長様、そして 私たち派遣団を温かく迎えてくださった瑞穂郷の呉郷長様をはじめ、瑞穂郷の皆様に心よ り感謝申し上げます。

令和7年度台湾・瑞穂郷訪問団写真集







7月11日 結団式

7月23日 瑞穂郷公所に到着

瑞穂郷の歓迎の踊り







瑞穂郷のビデオ鑑賞

歓迎会での呉郷長挨拶

歓迎会での羅主席挨拶







歓迎会での横山町長挨拶

歓迎会での小峯議長挨拶

瑞穂郷長からの記念品贈呈







沼田町長からの記念品贈呈

呉郷長を囲んで

瑞穂郷公所前での記念撮影

令和7年度台湾・瑞穂郷訪問団写真集



令和7年度台湾・瑞穂郷訪問団写真集



7月24日 瑞穂郷駅での 記念撮影



台湾外交部への表敬訪問



忠烈祠見学



文旦の試食



台湾外交部からの 記念品贈呈



台湾外交部林副司長と の懇談



中正紀念堂見学

「今後の友好協定について」

台湾・瑞穂郷訪問団一同

前段で申し上げたように、瑞穂郷が多様な農産物の産地であることからも、沼田町の資源を友好的に活用しながら、相互に付加価値を高めることができると確信した訪問となりました。

また、雪を一生見ることのない地域であることから、スキーをはじめとする「雪国文化体験」を実現し、台湾の子どもたちに異なる世界を体験してもらえるフィールドとして、今後の交流内容を具体化していきたいと感じました。沼田町の冬と瑞穂郷の夏はそれぞれに魅力があり、北海道の夏季休業や台湾の春節の時期に合わせて交流を行うことで、双方の特徴を理解し合うことから始めるのが望ましいと考えます。台湾の方々が沼田町でスキーを体験する交流も視野に入れ、可能な限り協力体制を整えていきたいと思います。

今回の交流事業では、一般の方々の暮らしぶりを直接見ることはできず、商店街や街並みも一部しか見ることができませんでした。次回以降は、街並みや一般の方々との交流ができる企画があると良いと感じています。

今後の交流のあり方としては、産業や文化、子どもたちの様子など、相互理解を更に深め、まずは人的交流を発展させることで、お互いの状況をより深く知り、交流の価値を見出していく必要があると考えます。

訪問団一同として、今回の訪問を通じて言葉の壁やさまざまな課題を実感しましたが、 町、議会、教育委員会、町民、瑞穂郷の皆様、そして台北駐日文化代表処札幌分処の皆様 と協議を重ねながら解決し、瑞穂郷と沼田町の友好関係の強化し、日本と台湾の繁栄と発 展に寄与してまいります。

北海道沼田町と花蓮県瑞穂郷との友好交流協定

北海道沼田町と花蓮県瑞穂郷は、どちらも豊富な自然資源と農産物に恵まれている。瑞穂郷は温泉、牧場を有し、茶葉、文旦及び乳製品などの酪農業で知られており、百年歴史の廟、豊かな原住民文化があり、ラフティングボートやサイクリングなどの屋外レジャーも行われる。北海道内有数の多雲地帯である沼田町は、高品質米や畑作物の産地であり、天然温泉やホタルの里、自然学校、雪の利活用など地域資源を活かしたまちづくりで知られている。文化面では、北海道三大あんどん祭りの一つである夜高あんどん祭りが有名である。

両地は文化、教育、自然、観光、特産品などの特徴を通じて、双方 が鉢を深め、相互利益と友好関係を築くことを望む。

今後、相互の信頼と尊重を礎にして、両地の交流関係を展開してい くため、双方の合意のもと以下の協定を締結する。

- 1.双方は相互理解と協力関係を深めるよう努める。
- 2.双方は共に日台青少年交流を促進し、次世代の相互理解を深め、互いのお祭りや文化などの伝統芸能を見習い交流を進める。
- 3.双方は相互に地方創生、観光及び特産品などのマーケティングを促進し、相互利益を創出する。
- 4.適時に相互訪問を推進すると共に、友好関係を深める。
- 5.双方は相互理解のもとに友好関係を強化し、日本と台湾の繁栄と発展に寄与するよう努める。

本協定書は、日本語と中国語による一式 2 部を作成して各々1 部を 保有するものとし、中日文効力を同じく、署名の日から効力を発する。 2024 年 6 月

署名人 北海道沼田町長

横山 茂

署名人 花蓮県瑞穂郷長

台湾·花蓮県 瑞穂郷 資料

1. 基本情報

項目	内容
所在地	台湾・花蓮県南東部
面積	約 135.6 km²
人口	約 12,000 人(2015 年時点)
気候	熱帯モンスーン気候・温暖湿潤気候(年間降水量約 2,292mm)

2. 観光資源

2-1. 自然・アクティビティ

名称	特徵
秀姑戀溪ラフティング	全長 104km の川で急流下り。国際大会も開催される人気
	アクティビティ
富源国家森林遊楽区	森林浴やハイキングに最適な自然保護区
北回帰線標塔	地球の回帰線を示す記念碑で地理的にも興味深い

2-2. 文化体験

名称	内容
奇美部落文化ラフティング	アミ族の伝統文化を体験できる旅「Tatadok」など
可夫却洛又化フファイング	がある
舞鶴村	サキザヤ族の文化や伝統行事を体験可能

3. 温泉

名称	特徴
瑞穂温泉(黄金の湯)	炭酸塩泉で鉄分を含み、空気に触れると淡い黄色に変化。
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	湯温約 48℃
紅葉温泉	静かな環境で癒しの時間を提供する温泉地

4. 特産品・グルメ

名称	特徴
瑞穂牧場・吉蒸牧場	香り高く滑らかな牛乳が名物。酪農が盛ん
文旦(ザボン)	鶴岡村が主な産地。春は花の香り、秋は収穫体験
	が可能
蜜香紅茶・ローゼル・コーヒー	香り豊かな飲み物が多数。ローゼルは健康食品と
毎日紅木・ロービル・コーヒー	しても注目
郷土料理	緑茶肉円(バーワン)、フレッシュミルク鍋、肉
グルド	粽など地元の味が楽しめる

5. アクセス情報

手段	詳細
鉄道	台鉄・瑞穂駅(台東線)
道路	台 9 線(花東公路)、県道 193 号

参考文献リスト

交通部観光署(台湾観光局)公式サイト 東部海岸国家風景区公式サイト 台北ナビ(台湾エンタメ・レジャー情報サイト)

